

# わがまち *Araijuku* 新井宿

自治会 東三丁目 山王三丁目  
自治会 四丁目 山王三丁目  
自治会 五丁目 山王三丁目  
自治会 六丁目 山王三丁目  
自治会 七丁目 山王三丁目  
共同編集

龍子の作品は、画家自身が鳥となつて、高い天空から対象を見ているような、そんな大きなスケールをもって観る者の心を捉えます。龍子記念館の向いにある画伯のアトリエは、いまでも龍子が絵筆を持って座っているかのように、在りし日のまま大切に保存されています。

現在の画室は、昭和十三年に建てられました。子供の頃から雑誌に載っている建築の模写をしたり、設計図を書くことが好きだったという画伯自らが、意匠を凝らして設計しました。

門から画室へのアプローチには石畳が敷かれ、画伯の好んだ竹で作られた垣根のもとには、からすうりや水引草が咲いています。途中、左手に池があります。これは昭和二十年八月十三日に、爆弾が投下され、その時できた穴に湧水が溜まったものだそうです。戦争中ここは野菜畑になっていて、爆弾で飛び散った茄子や南瓜を描いた作品が「爆弾散華」、そこでこの池を爆弾散華の池と呼ぶそうです。

画室は、銅版葺きの屋根、平屋の建物で、斜めの優しい自然光を取り入れるために、西側に

大きな窓があります。当時その枠に納まるガラスがなかったため、手作りだったそうで、斜めから見ると少しゆがんで見えます。室内は、天井の高さが四メートル、柱のない広々としたスペース、床の美しい檜の市松模様、北側の窓の斜格子の枠は、窓の開閉で微妙に陰影が変化します。高い床、長くさした小さいスペースを効果的に利用した収納、いたるところに画伯の合理的な機能美の体現があります。西側の角にある三畳ほどの小部屋から、一梅、桜、藤づる、熊笹― 樹木に手を入れることを嫌った画伯の好みどおり、緑も深々と自然のままの庭が見渡せます。奥にある十三重の塔は、京都の日本画家、橋本関雪の邸内にあったものを移したそうです。

龍子は、私邸と合わせて、ここを御形荘と名付けました。昔の地名「子母澤」の字を逆にすると「澤子」、それは「草子草」（春の七草の一つ御形）ともなぞらえ、また御形という字は、自然の姿に憧憬する画伯自身の心に叶ったものだったということです。この地で創作を続けた龍子を偲んで、龍子記念館に足を運びました。

入館案内

開館時間  
午前九時～午後四時三十分  
(但し入館時間は四時まで)

休刊日 月曜日

入館料 大人 二百円  
子供 百円



## 川端龍子の画室

## 受賞おめでとうページがあります

☆東京都赤十字奉仕団功労表彰  
〈銀色有効賞〉 大村登喜子  
〈金杯支部長感謝状〉 岩井 久年  
〈銀杯支部長感謝状〉 川瀬 孝三  
亀山 政美

中野 ミヨ 小島 利男  
金子 泰士 渡辺 治雄  
涌井きみ江 花本 操  
原 すい 加藤佐和子  
原 好子 日田知枝子  
(敬称略)

★「街頭設置消火器」に注目！  
街の道路ぎわによく見かける赤い箱、この中に納まっているのが街頭設置消火器です。通常の火災や、車輛火災等の初期消火に活躍し、効果をあげています。

反面、心ないいたずらや、事故により、正常な状態を保つのに苦慮しているのが現状のようです。火災から地域を守る防火設備です。地域の財産として管理に協力し、異状を見つけたら左記に連絡しましょう。

防災課 五七四四―二二二六



★新春梯子乗り  
大森組合のメンバーで成人式の日、昨年に続き梯子乗りを行います。古来江戸火消の伝統により、直立した高さ六メートルの梯子の上で背亀、腹亀、遠見、鯨ほこ等の技と、纏いの行列、粋な木遣など新春を祝って町の皆様と共に、江戸情緒を味わいませんか。



日時  
一月十四日(雨天中止)  
春日神社境内 十時  
大森建設組合前 十一時半

▶今年の風景

★在宅介護支援センター大森医師会  
中央一～四丁目、山王三～四丁目にお住まいの六十五才以上の方々の生活上のご相談や、大田区の高齢者福祉制度のご相談と申請手続きの代行、生活全般の不安軽減と一緒に考えています。

昨年四月に介護保険が制定されてから、これまでの地域担当者のほかに、あらたにケアマネージャー(介護支援専門員)が加わり、在宅介護支援センターの仕事も複雑になりました。

福祉サービスも介護保険で使えるものと、大田区が独自に準備しているものがあります。どちらもご理解して頂き、上手に利用して頂けるよう、各種制度のご案内やお問合せの対応に、三人の職員が毎日奮闘しています。

その他、在宅介護支援センターが大田区内にはそれぞれの地域にあり、活動しています。これからも皆さんと共に、さらに福祉の充実を目指して日々努力いたします。

問合せ先 三三七二―二四一五

編集後記  
十二月号の一面は著名な川端龍子画伯のアトリエを取り上げてみました。才能溢れる力作に出会える喜びを、肌で感じてみてはどうでしょうか。不思議と勇気がわいてくることでしょうか。機会がありましたらぜひ一度訪ねて見て下さい。

二、三画は大田文化の森のオーピングセンターを特集しました。区役所が蒲田駅前に移転して以来、地域住民が待ちに待った文化施設です。多くの人々が集い、交流することによって地域周辺の活性化にもつながって行くことでしょうか。若者から中高年まであらゆる年齢層の出会いの場として、いろいろな楽しみが増してくるのではないのでしょうか。スポーツに、音楽に、新しい利用法を発見してください。

皆様の情報をお待ちしていますので、是非沢山のご投稿をお願いいたします。

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会  
編集 「わがまち新井宿」編集委員会  
監修 新井宿自治会連合会  
事務局 大田区新井宿特別出張所  
大田区中央四―三二―四  
三三七六―五三九一



獅子舞で幕開け



大田文化の森 11月3日・4日

# オープニング★イベント



新井宿福祉園まつりのバザーや模擬店も盛況でした



菊薫る文化の日、「大田文化の森」の開館を記念してテープカットが行われました。

四日には、秋晴れのもと「みんなでオープニングイベント・大田文化の森ウオーラリー」が開催されました。広場では民踊や獅子舞、パラパラなど、地元の新井宿からは、八基の子どもみこしが近辺を一周しました。池上通りでは、警視庁の鼓隊を先導にパレードが繰り広げられました。

ホールでは、日頃の文化活動の成果を披露し、いろいろな発表がありました。

スタンプラリー、新井宿福祉園まつりのバザー、文士村のパネル紹介、琴の音の流れる集会棟は終日賑やかでした。

今後は皆様のコミュニケーションの場として、大きな森の文化を築き、地域の発展につながれば素晴らしいと思います。



賑やかなパレード



警視庁の鼓隊が花を添えました



子どもみこしだ！  
ワッショイワッショイ



華やかな輪踊り